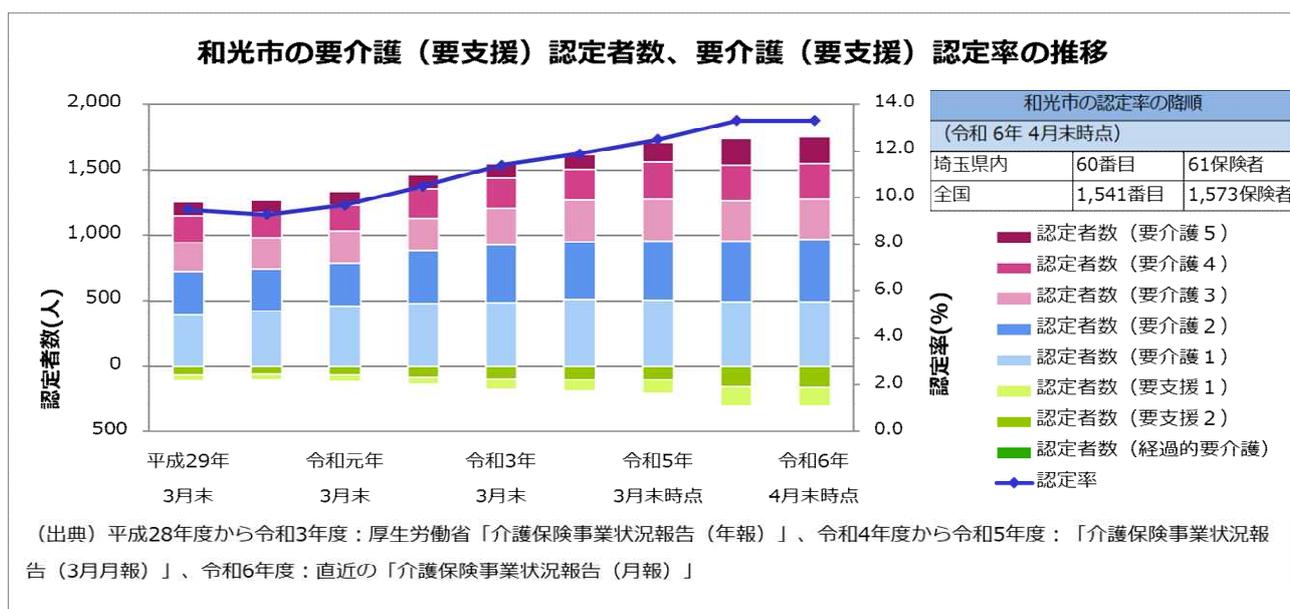
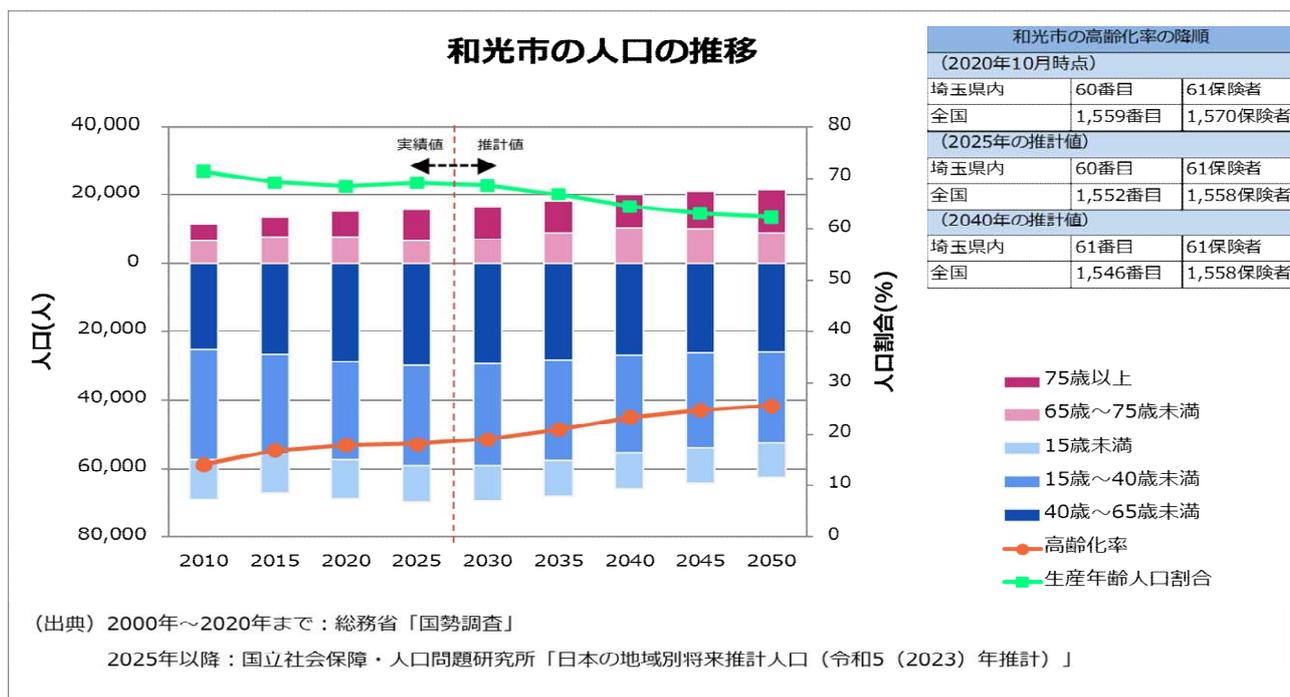


## 地域包括ケア「見える化」システムを活用した

### 和光市介護保険事業の現状分析

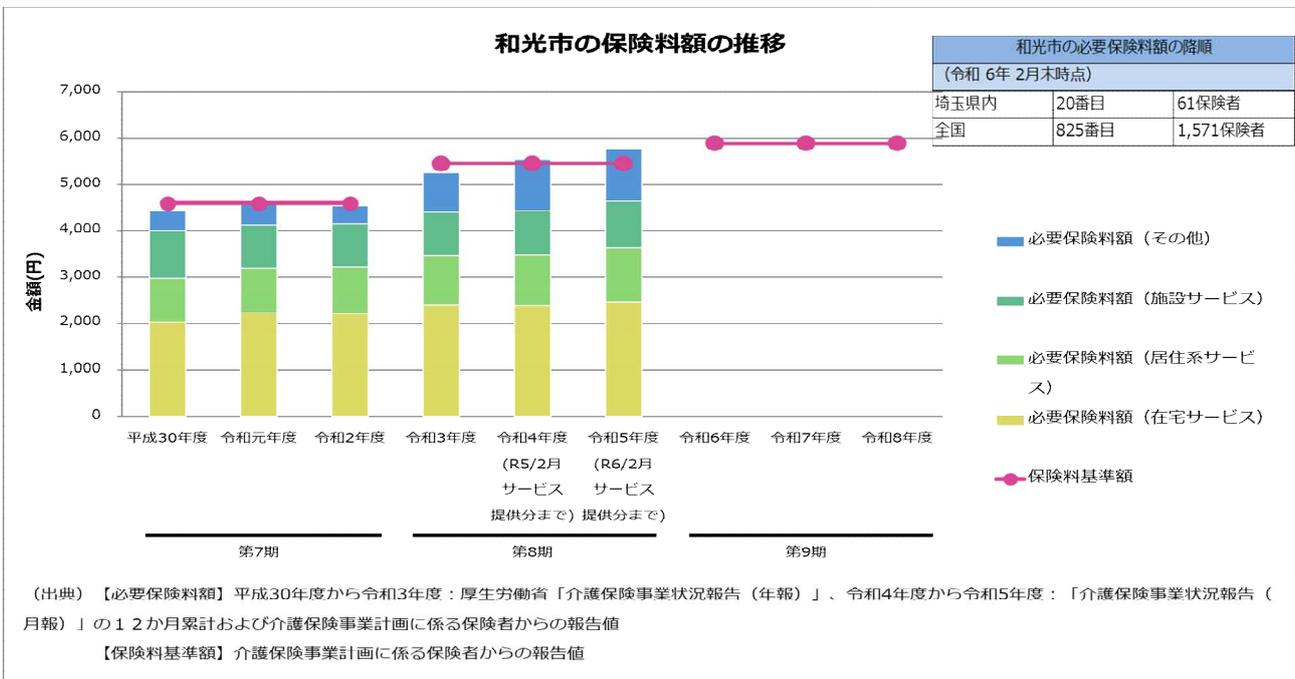
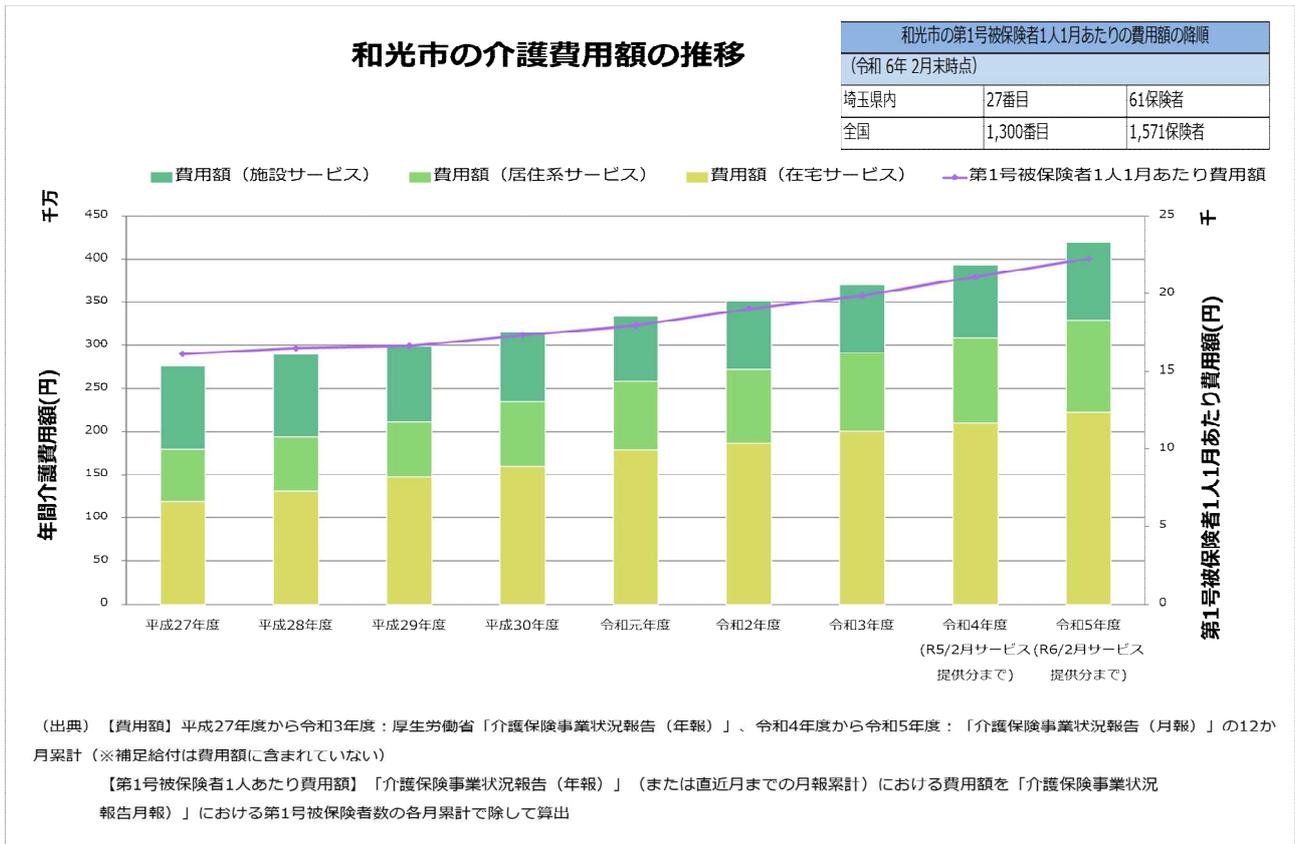
令和6年8月30日  
和光市

# 1. 和光市の人口、認定率の動向



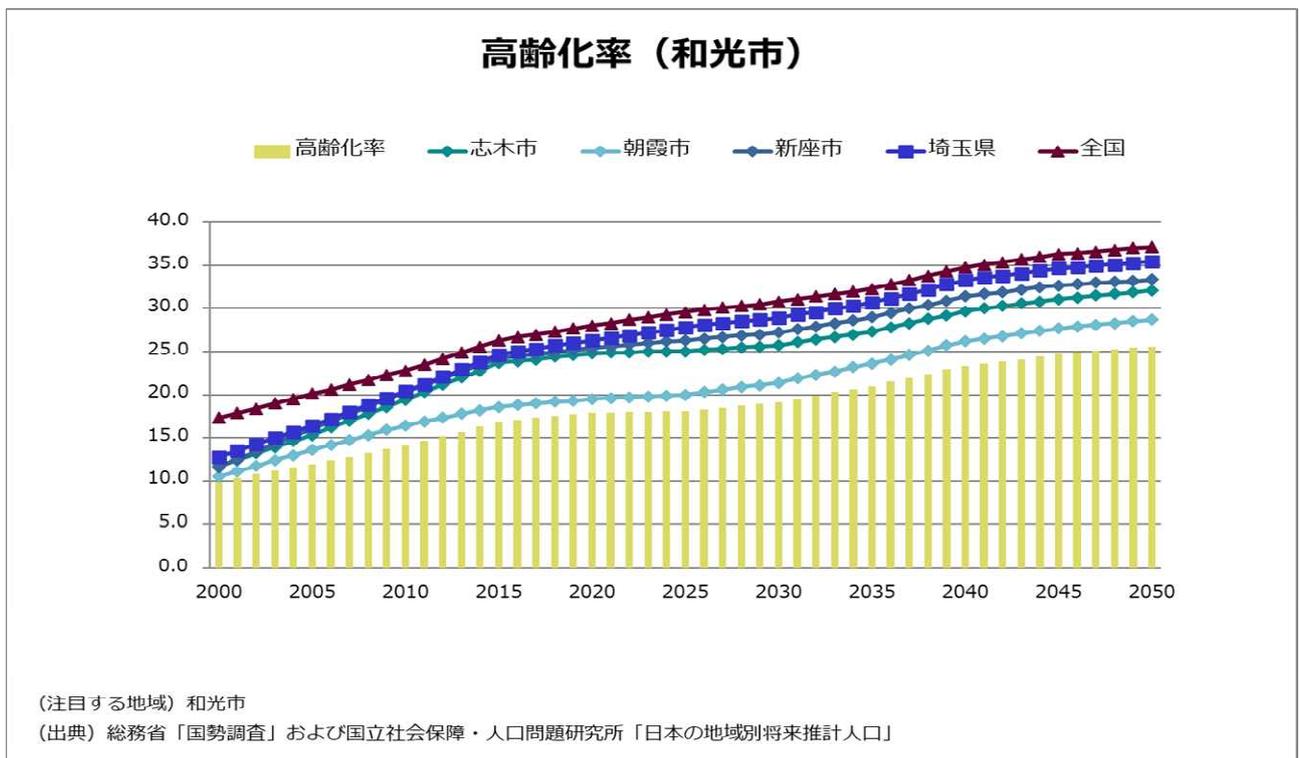
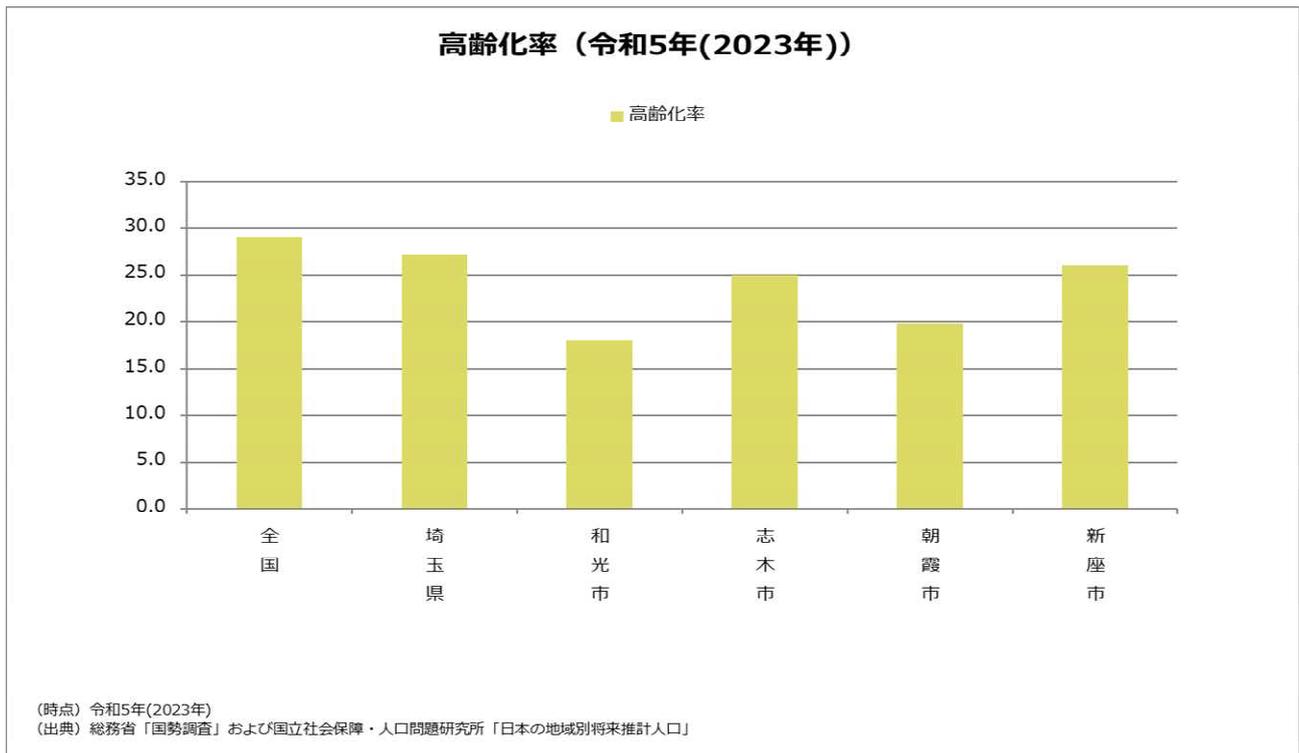
全国と比較して高齢化率、認定率の推移ともに低くなっている。  
認定率が低く抑えられている要因として、高齢化率が低いことや、予防サービスや総合事業に力を入れていることが寄与しているものと考えられる。

## 2. 和光市の介護費用及び保険料の動向



介護保険費用額は年々増加傾向にあり、保険料も増加している。  
 介護保険費用額は、県内では中間程度の位置づけだが全国で見ると下位の20%に位置している。  
 第9期の保険料基準額は5,880円で、全国平均6,225円、埼玉県平均5,922円と比較すると低くなっているものの、年々増加傾向となっている。

### 3 高齢化率

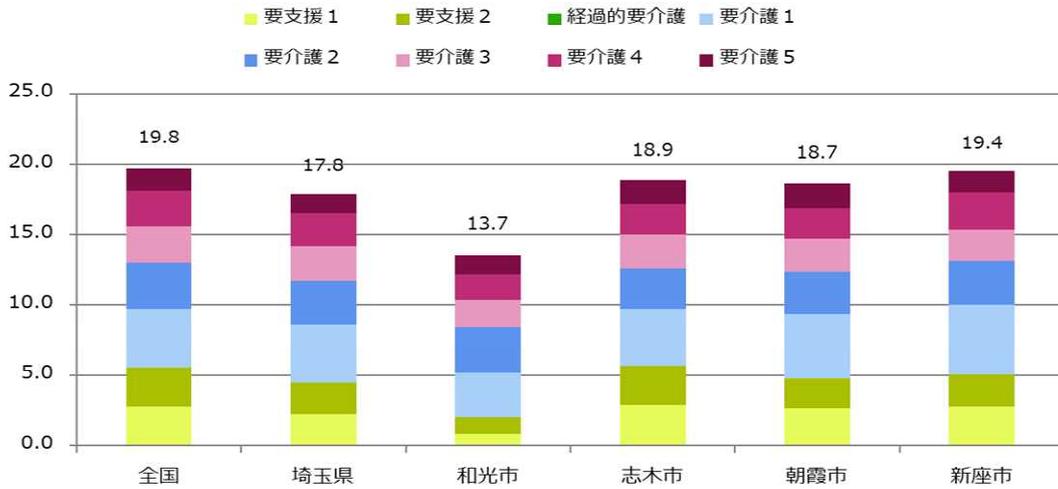


高齢化率は県内市町村や、近隣市と比較してもかなり低い割合で推移しているが、年々増加傾向にある。

しかし、高齢化率に対して、介護費用額は県内で中間に位置しているので、今後は高齢化率の上昇に伴い、他市町村よりも費用額が伸びる余地があると考えられる。

## 4 認定率の動向

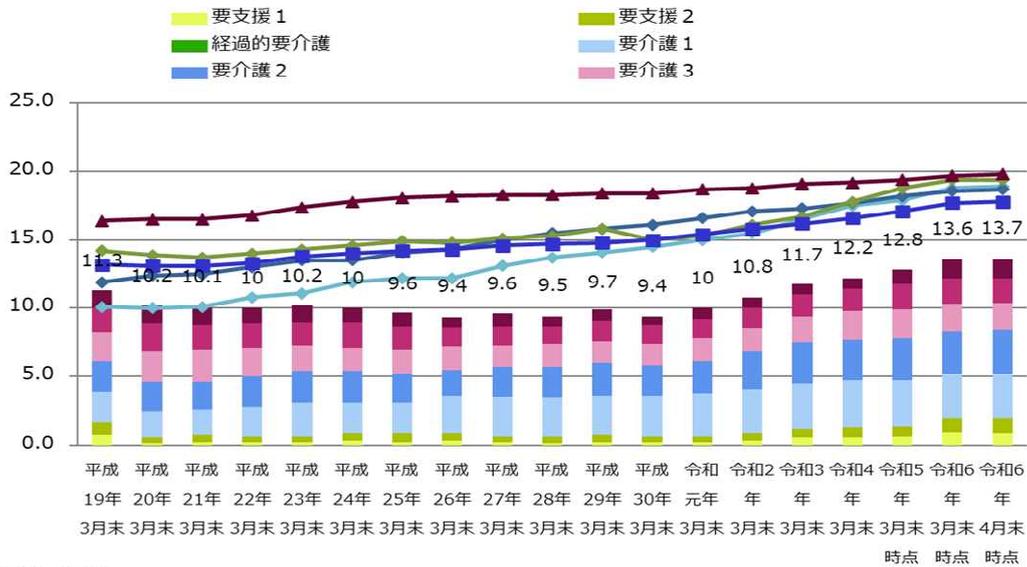
認定率（要介護度別）※第2号被保険者を含む（令和6年(2024年)）



(時点) 令和6年(2024年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

認定率（要介護度別）※第2号被保険者を含む（和光市）



(注目する地域) 和光市

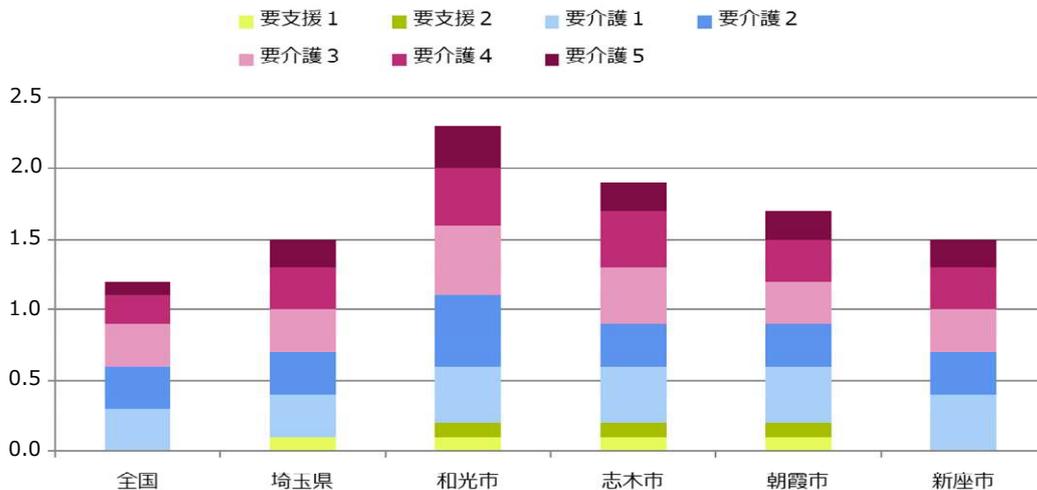
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

認定率は県内市町村に比較し、かなり低い水準にある。認定率が低い要因として、特に要支援1, 2の割合が低い特徴がある。これは、総合事業に力をいれているため、要支援から改善した人の利用先が確保されていることにあると考えられる。年度毎にみると高齢化率等と同様に年々増加傾向にあるが、近隣市町村に比較すると低い水準で推移している。

## 5 受給率（居宅系）

－特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護－

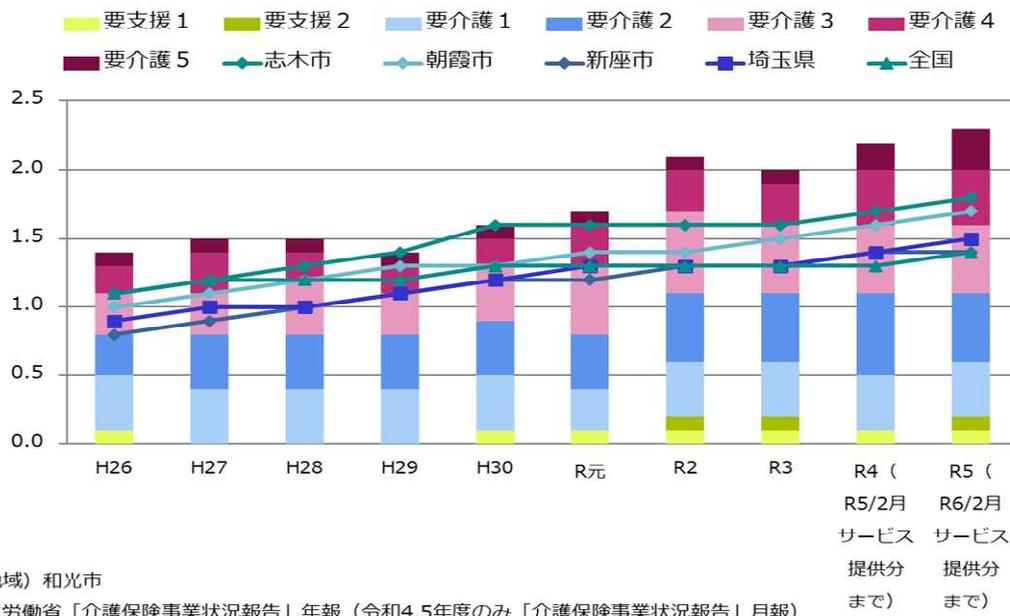
### 受給率（居住系サービス）（要介護度別）（令和5年(2023年)）



（時点）令和5年(2023年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

### 受給率（居住系サービス）（要介護度別）（和光市）



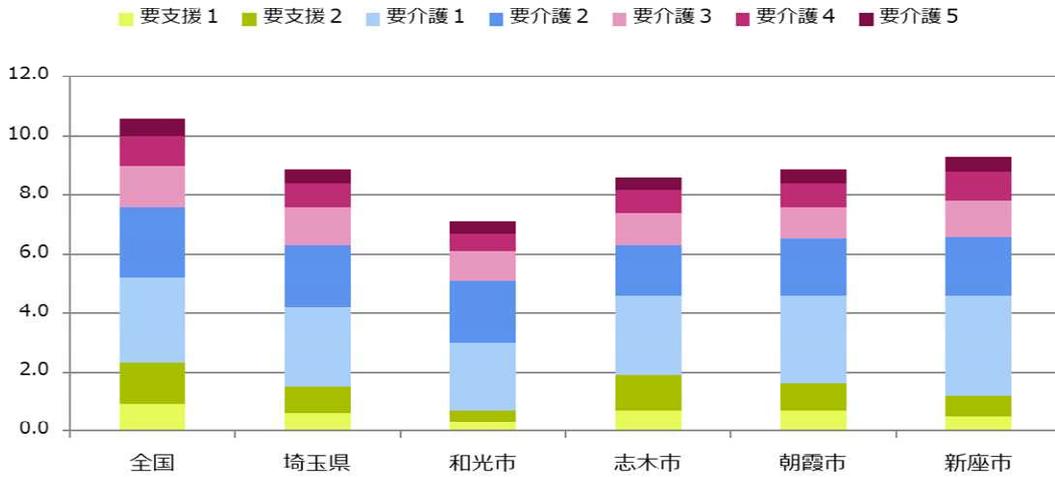
（注目する地域）和光市

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

居宅系サービスの受給率は、全国と比較すると2倍近く高くなっている。近隣市町村と比較しても高くなっており、受給率は増加傾向にある。また、施設数は近隣市と比較して大きな差はないため、市外の居住系サービスを利用している市民が多いことがわかる。認定率が低い上で、他市よりも受給率が高いため要因をつかむためには、個々のケアプランの分析が必要であると考えられる。

## 6 受給率（在宅系） －住宅系・施設系以外－

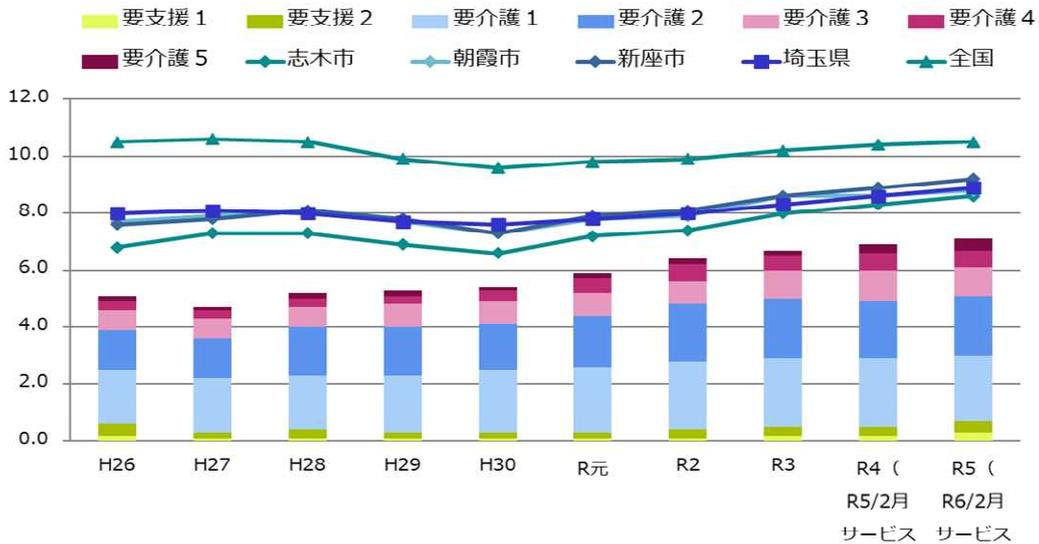
### 受給率（在宅サービス）（要介護度別）（令和5年(2023年)）



（時点）令和5年(2023年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

### 受給率（在宅サービス）（要介護度別）（和光市）



（注目する地域）和光市

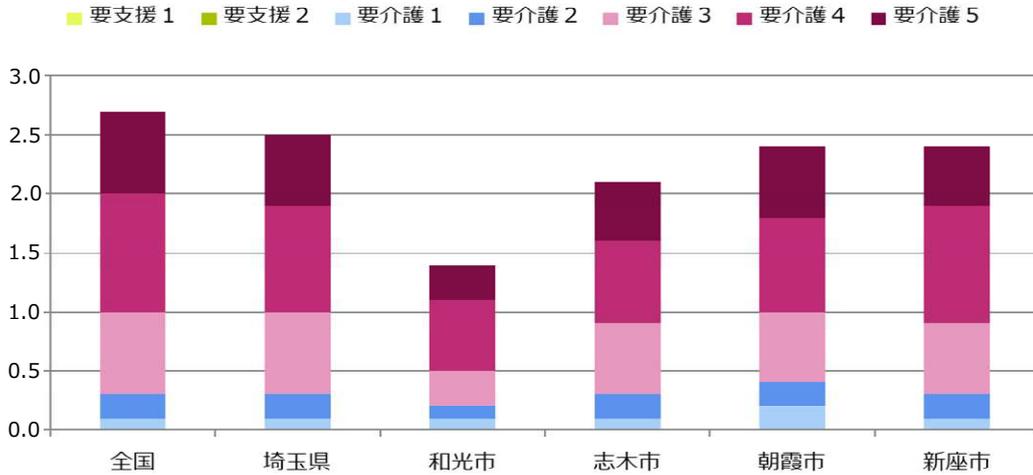
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

在宅サービスは、近隣市や全国と比較して低い水準でやや増加傾向で推移している。これは被保険者に対して、認定者数が少ないことが要因と考えられる。

## 7 受給率（施設系）

－介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院－

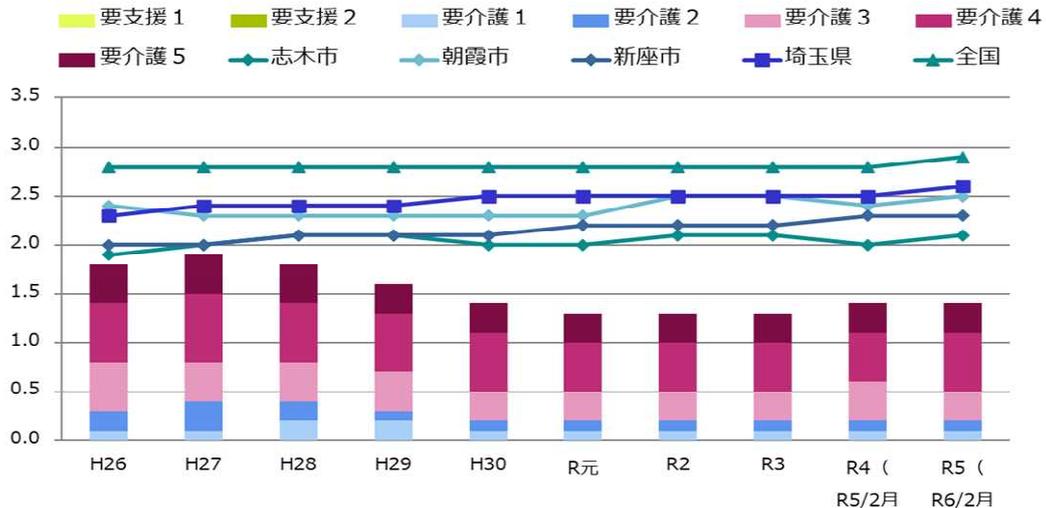
### 受給率（施設サービス）（要介護度別）（令和5年(2023年)）



（時点）令和5年(2023年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

### 受給率（施設サービス）（要介護度別）（和光市）



（注目する地域）和光市

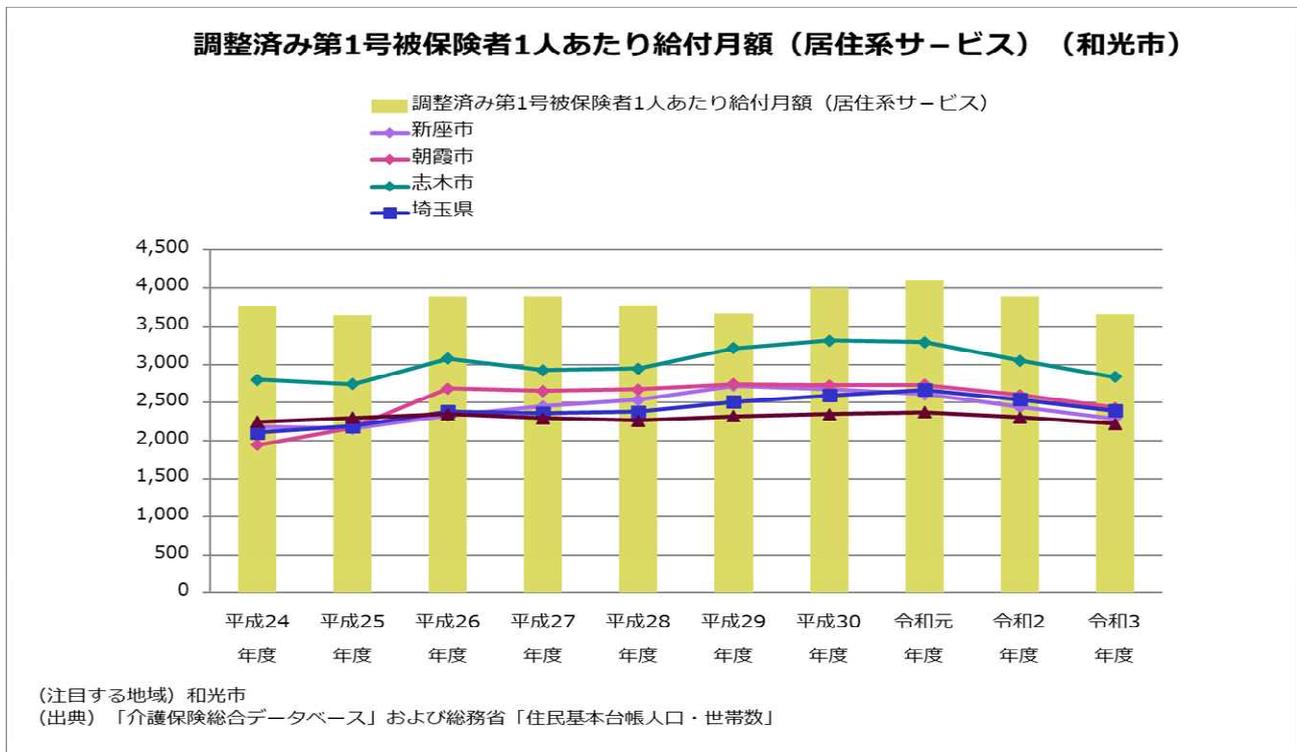
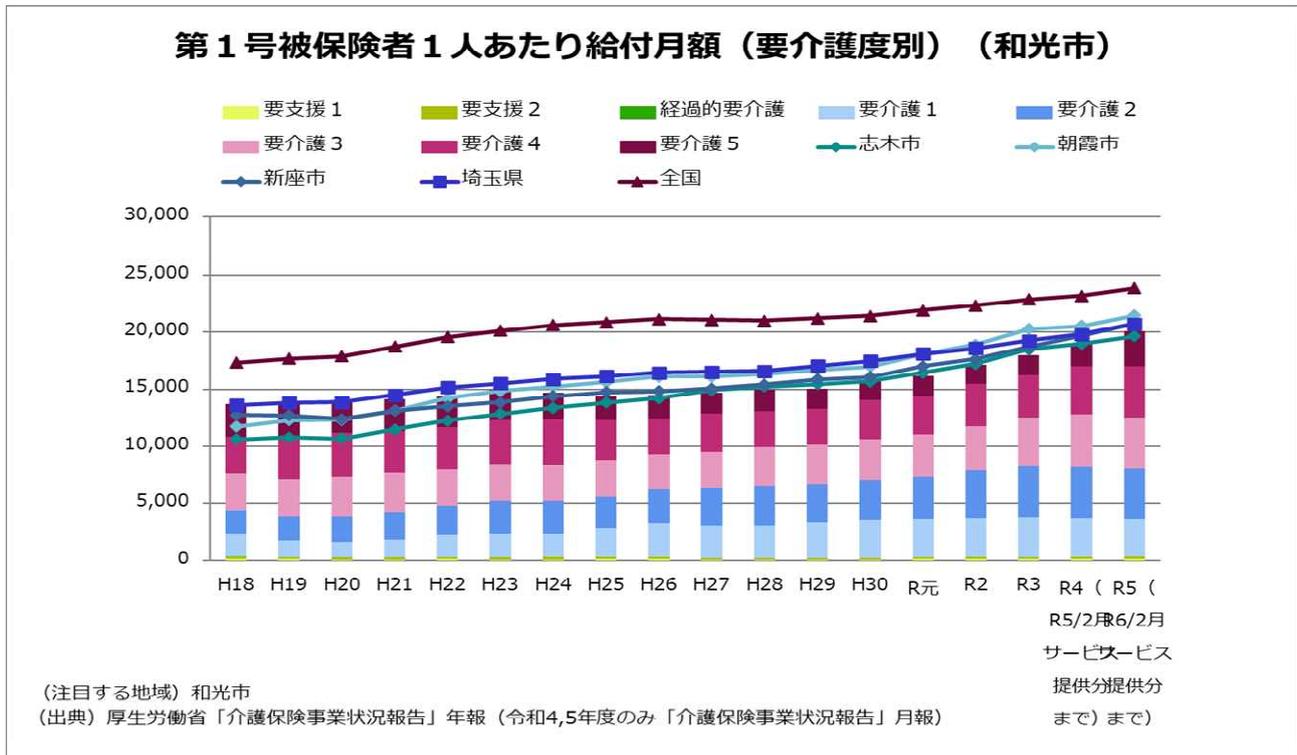
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

提供分

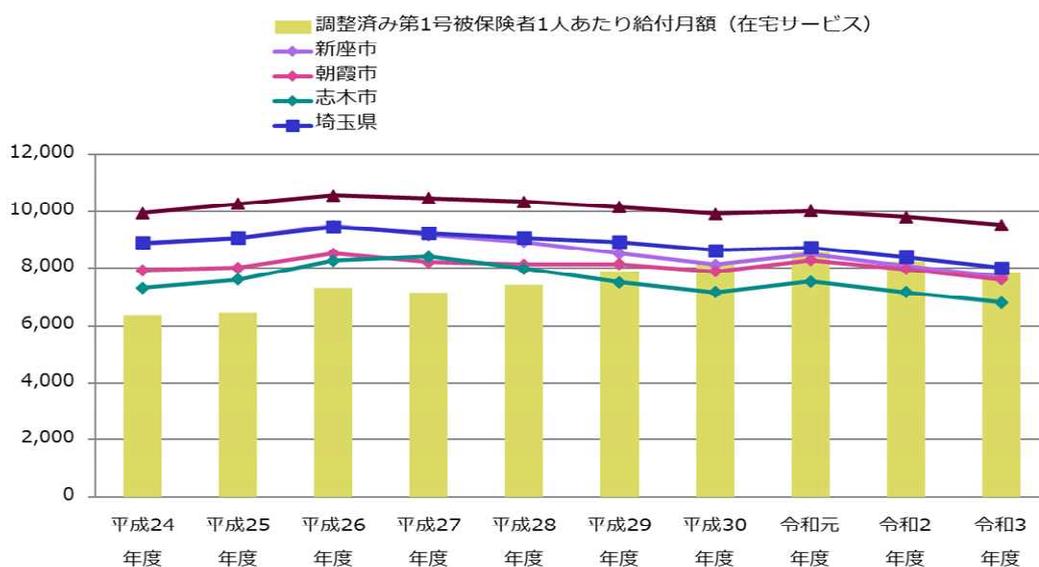
まで

全国と比較して施設系のサービス受給率は、低く推移している。全体的に横ばいか微減傾向にあるが、介護老人保健施設の利用が少なくなっている傾向がある。当該施設は、原則3ヶ月間と短期間の入所となるため、長期的に安定して場を求めているニーズと合致しない面があるのではないかと推測される。介護老人保健施設については、リハビリの場であることから、当該施設について、有効に利用し、在宅での生活を可能な限り延ばすような施策を検討していく。

## 8 第1号被保険者一人当たり給付月額（サービス別）

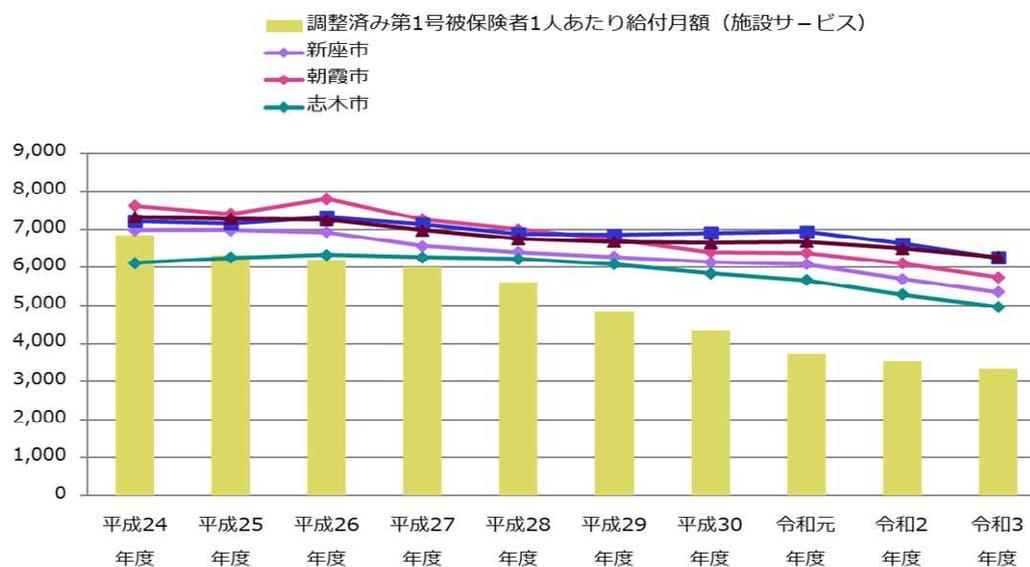


### 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス）（和光市）



(注目する地域) 和光市  
 (出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

### 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（施設サービス）（和光市）



(注目する地域) 和光市  
 (出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

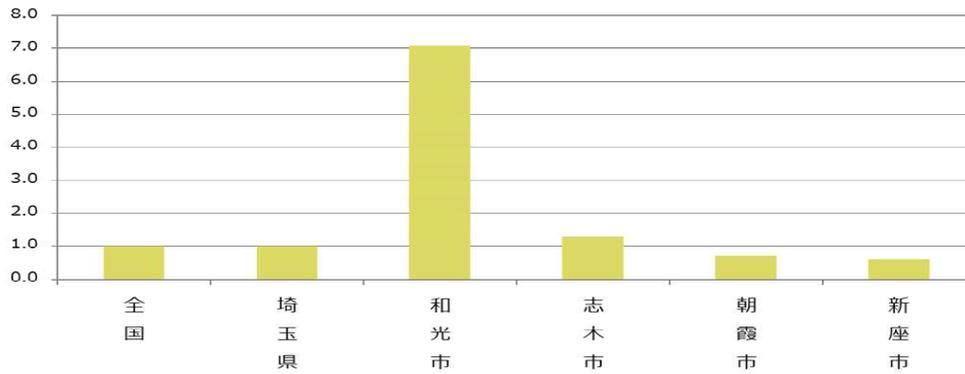
1人当たりの給付月額は令和元年頃まで横ばいであったが、それ以降は年々増加している。居住系、在宅、施設、いずれも受給率と同じ推移となっているが、施設系の給付月額が利用に対して、減少傾向にある。利用者数に大きな変更がないため、利用者の介護度の割合が変化していると考えられる。

## 9 地域の特徴的なデータ

サービス提供事業所数（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）（令

## 和4年(2022年)

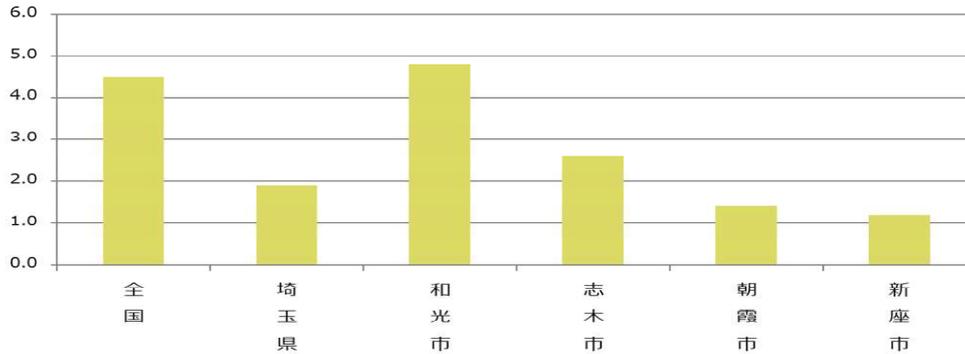
■ サービス提供事業所数（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）[人口10万対]



(時点) 令和4年(2022年)  
(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

## サービス提供事業所数（小規模多機能型居宅介護）（令和4年(2022年)）

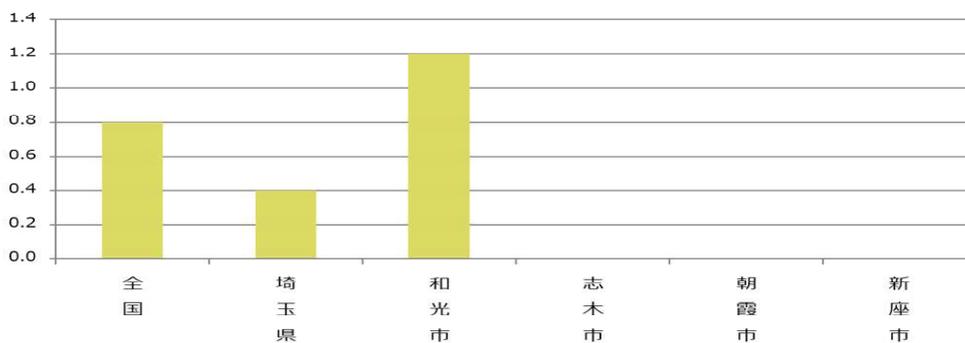
■ サービス提供事業所数（小規模多機能型居宅介護）[人口10万対]



(時点) 令和4年(2022年)  
(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

## サービス提供事業所数（看護小規模多機能型居宅介護）（令和4年(2022年)）

■ サービス提供事業所数（看護小規模多機能型居宅介護）[人口10万対]

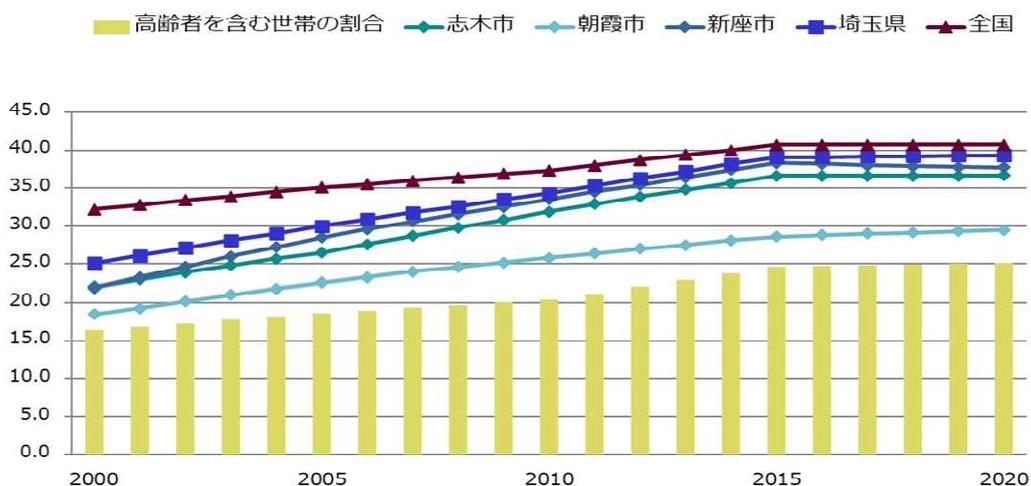


(時点) 令和4年(2022年)  
(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

定期巡回、看多機、GHの住民当たりの施設数は近隣市町村と比較して、高い水準となっている。

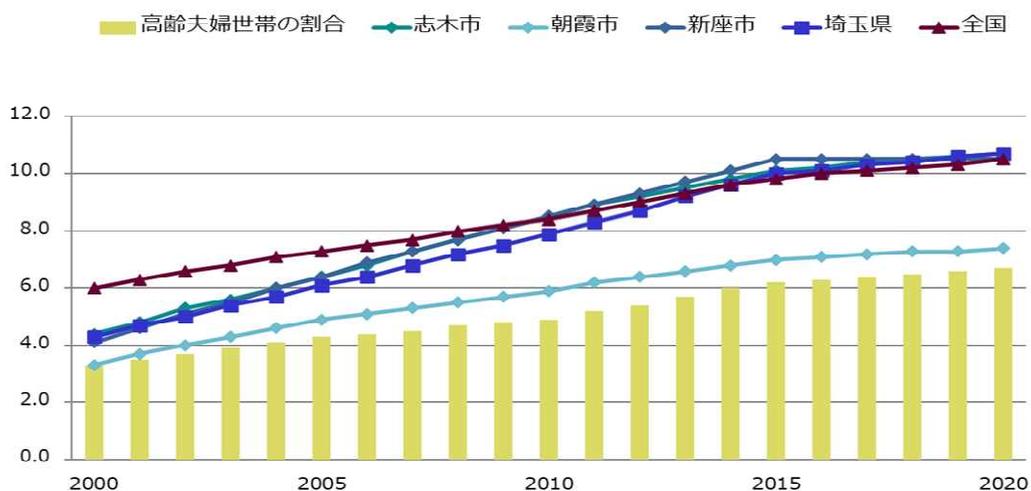
## 10 高齢者の特徴

### 高齢者を含む世帯の割合（和光市）



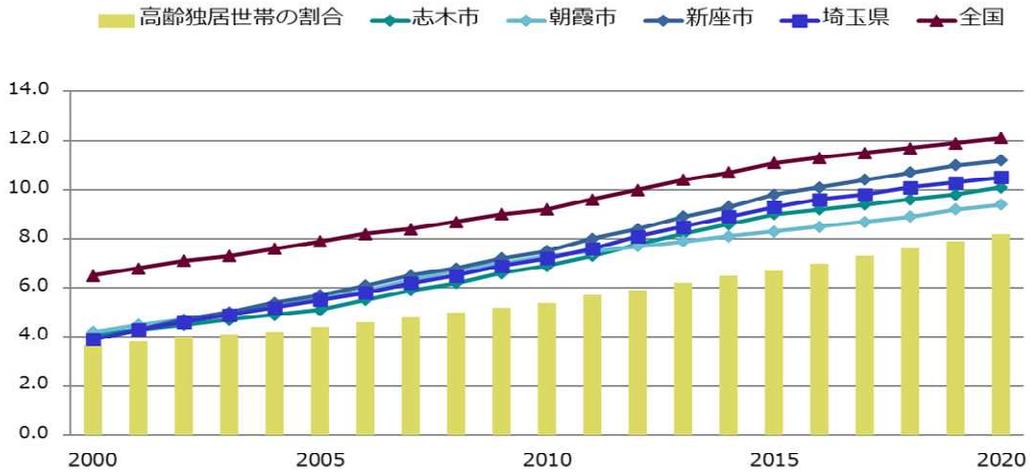
(注目する地域) 和光市  
(出典) 総務省「国勢調査」

### 高齢夫婦世帯の割合（和光市）



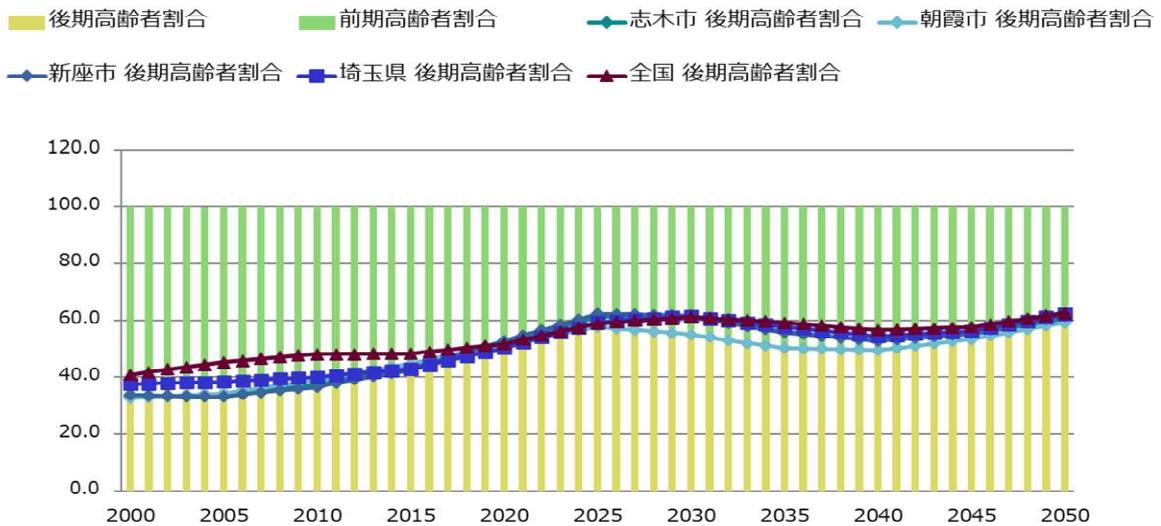
(注目する地域) 和光市  
(出典) 総務省「国勢調査」

### 高齢独居世帯の割合（和光市）



(注目する地域) 和光市  
(出典) 総務省「国勢調査」

### 前期・後期別高齢者数割合（和光市）



(注目する地域) 和光市  
(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

高齢者がいる世帯の割合、夫婦世帯の割合は、2015年頃から伸びが緩やかになり、横這いかやや微増となっているが、独居世帯の割合は着実に増加傾向にある。前期、後期高齢者数の割合は、高齢化率に関わらず全国的に同じ推移で動いており、2026年頃までは後期高齢者の割合が増加する見込みである。

後期高齢者が増加することで認定者数、介護費用額の増加が見込まれるので、安定的な介護保険制度を運営するために、介護保険料の見直しが必要になると考えられる。

また、後期高齢者の増加とともに独居世帯も増加するので、外出機会の創出や見守りなどの事業を充実させていく必要がある。